

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、目標の欄に（TASK-A）（SHARE）（WRITE）のような形で表しています。参考にお使いください。

LESSON 1 Your Interests

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・時制を正しく用いて表現することができる。 ・興味のあることについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 時制などを適切に用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 時制の表現を適切に用いて、話す技能を身につけている。(TASK-C,SHARE)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 時制の表現を適切に用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	時制などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 時制の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 時制の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	時制などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 時制の表現を適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 時制の表現を適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	時制などを適切に用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 時制の表現を適切に用いて、英語で話すことが十分できない。	c 時制の表現を適切に用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A,SHARE)	クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C,SHARE)	人のプロフィールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B)
	a	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 人のプロフィールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合うことができる。	b クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話すことができる。	b 人のプロフィールについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合うことが十分できない。	c クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話すことが十分できない。	c 人のプロフィールについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	グループのメンバーについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分の部活について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a クラブ活動や自分の趣味についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a グループのメンバーについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合う姿勢がみられる。	b クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b グループのメンバーについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	クラブ活動や自分の趣味について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c クラブ活動や自分の趣味についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c グループのメンバーについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 2 Your Daily Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 名詞節の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 名詞節を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 動名詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 不定詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,C) <技能> 不定詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A)		
	a	名詞節などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	動名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	不定詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	名詞節などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	動名詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	不定詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	名詞節を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	動名詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	不定詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C, SHARE)	目標	自分が興味をもっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B, SHARE)	目標	週末の計画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A)
	a	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	自分が興味をもっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	週末の計画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	流行していることや関心があることについて、伝え合うことができる。	b	自分が興味をもっていることについての情報を、話すことができる。	b	週末の計画についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	流行していることや関心があることについて、伝え合うことが十分できない。	c	自分が興味をもっていることについての情報を、話すことが十分できない。	c	週末の計画についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	目標	流行していることや関心があることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	目標	ビデオレターの台本についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	流行していることや関心があることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	流行していることや関心があることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ビデオレターの台本についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	流行していることや関心があることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	流行していることや関心があることについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	ビデオレターの台本についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	流行していることや関心があることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	流行していることや関心があることについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	ビデオレターの台本についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 3 Your School Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A,B,C) <技能> 助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A,B,C)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 助動詞を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A,B,C) <技能> 助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	与えられた設定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C)	目標 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 学校の施設の使い方についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	与えられた設定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 学校の施設の使い方についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	与えられた設定について、伝え合うことができる。	b 掃除当番の手順についての情報を、話すことができる。	b 学校の施設の使い方についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	与えられた設定について、伝え合うことが十分できない。	c 掃除当番の手順についての情報を、話すことが十分できない。	c 学校の施設の使い方についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた設定について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 学校の施設の使い方についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, WRITE)
	a	与えられた設定について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 掃除当番の手順についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 学校の施設の使い方についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた設定について、伝え合う姿勢がみられる。	b 掃除当番の手順についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 学校の施設の使い方についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	与えられた設定について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 掃除当番の手順についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 学校の施設の使い方についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 4 Media Literacy

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。 ・メディアリテラシーについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 形容詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 分詞形容詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 形容詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 形容詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B,C) <技能> 分詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	分詞形容詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 形容詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 分詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞形容詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 形容詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 分詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	分詞形容詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 形容詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 分詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	最近目にしたことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C,SHARE)	ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	最近目にしたことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	最近目にしたことについて、伝え合うことができる。	b ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話すことができる。	b ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	最近目にしたことについて、伝え合うことが十分できない。	c ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話すことが十分できない。	c ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ソーシャルメディアの投稿について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	ソーシャルメディアの注意点についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ソーシャルメディアの投稿について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a ソーシャルメディアの注意点についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ソーシャルメディアの投稿について、伝え合う姿勢がみられる。	b ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b ソーシャルメディアの注意点についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ソーシャルメディアの投稿について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c ソーシャルメディアの注意点についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 5 Helping Others

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞句を正しく用いて表現することができる。 ボランティア活動について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 形容詞句を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 形容詞句を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B) <技能> 形容詞句を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, WRITE)
	a	形容詞句などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 形容詞句の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 形容詞句を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	形容詞句などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 形容詞句の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 形容詞句を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	形容詞句を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 形容詞句の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 形容詞句を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ボランティアの経験について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C)	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A, SHARE)	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	ボランティアの経験について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ボランティアの経験について、伝え合うことができる。	b ボランティア活動についての情報を、話すことができる。	b ボランティア活動についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ボランティアの経験について、伝え合うことが十分できない。	c ボランティア活動についての情報を、話すことが十分できない。	c ボランティア活動についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ボランティアの経験について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	ボランティアの経験について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a ボランティア活動についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a ボランティア活動についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ボランティアの経験について、伝え合う姿勢がみられる。	b ボランティア活動についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b ボランティア活動についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ボランティアの経験について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c ボランティア活動についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c ボランティア活動についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 6 Introducing Your Town

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・地域活性レポートについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞や関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 関係代名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A,SHARE)	目標 <知識> 関係代名詞や関係副詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 関係代名詞や関係副詞を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 関係代名詞や関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	関係代名詞や関係副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 関係代名詞や関係副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 関係代名詞や関係副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係代名詞や関係副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 関係代名詞や関係副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 関係代名詞や関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	関係代名詞や関係副詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 関係代名詞や関係副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 関係代名詞や関係副詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	町の魅力について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A,SHARE)	目標 観光スポットについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 自分の町の紹介文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	町の魅力について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 観光スポットについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 自分の町の紹介文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	町の魅力について、伝え合うことができる。	b 観光スポットについての情報を、話すことができる。	b 自分の町の紹介文についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	町の魅力について、伝え合うことが十分できない。	c 観光スポットについての情報を、話すことが十分できない。	c 自分の町の紹介文についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	町の魅力について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A,SHARE)	目標 観光スポットについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 自分の町の紹介文についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	町の魅力について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 観光スポットについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 自分の町の紹介文についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	町の魅力について、伝え合う姿勢がみられる。	b 観光スポットについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 自分の町の紹介文についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	町の魅力について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 観光スポットについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 自分の町の紹介文についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 7 Languages of the World

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 副詞を正しく用いて表現することができる。 世界の言語について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 副詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 副詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	言語の消滅などについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	日本の方言についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C)	与えられた表から読み取れることについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B)
	a	言語の消滅などについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 日本の方言についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 与えられた表から読み取れることについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	言語の消滅などについて、伝え合うことができる。	b 日本の方言についての情報を、話すことができる。	b 与えられた表から読み取れることについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	言語の消滅などについて、伝え合うことが十分できない。	c 日本の方言についての情報を、話すことが十分できない。	c 与えられた表から読み取れることについて、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	言語の消滅などについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	日本の方言についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	消滅の危機にある言語についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	言語の消滅などについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 日本の方言についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 消滅の危機にある言語についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	言語の消滅などについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 日本の方言についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 消滅の危機にある言語についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	言語の消滅などについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 日本の方言についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 消滅の危機にある言語についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 8 Imagining the Future

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・副詞句を正しく用いて表現することができる。 ・未来のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 副詞句を用いて、伝え合う技能を身につけている。(SHARE)	目標	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞句を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A,C)
	a	副詞句などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	副詞句を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞句などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	副詞句を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞句を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	副詞句を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ストーリーの続きについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(SHARE)	目標	未来の生活についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A,WRITE)
	a	ストーリーの続きについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	未来の生活についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ストーリーの続きについて、伝え合うことができる。	b	未来の生活についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ストーリーの続きについて、伝え合うことが十分できない。	c	未来の生活についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ストーリーの続きについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	未来の生活についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-A,WRITE)
	a	ストーリーの続きについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	未来の生活についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
	b	ストーリーの続きについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	未来の生活についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。
	c	ストーリーの続きについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	未来の生活についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 9 Happiness and Stress

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・副詞節を正しく用いて表現することができる。 ・幸福・ストレスについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞節を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 副詞節を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞節を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)		
	a	副詞節などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	副詞節を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	副詞節を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞節などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	副詞節を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	副詞節を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞節を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	副詞節を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	副詞節を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	幸せを感じるタイミングについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C)	目標	ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	幸せを感じるタイミングについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	幸せを感じるタイミングについて、伝え合うことができる。	b	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、話すことができる。	b	ストレス解消について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	幸せを感じるタイミングについて、伝え合うことが十分できない。	c	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、話すことが十分できない。	c	ストレス解消について、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	幸せに必要な要素について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標	ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	幸せに必要な要素について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ストレス解消について、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	幸せに必要な要素について、伝え合う姿勢がみられる。	b	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、話そうとする姿勢がみられる。	b	ストレス解消について、書こうとする態度がみられる。
	c	幸せに必要な要素について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	世界の幸福度ランキングについて、感じたことを、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	ストレス解消について、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 10 Comparing Countries

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 世界の国々について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 比較表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 比較表現を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 比較表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)		
	a	比較表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	比較表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	比較表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	比較表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	比較表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	比較表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	比較表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	比較表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	比較表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	データから読み取れることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	データから考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	データから読み取れることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	データから考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	データから読み取れることについて、伝え合うことができる。	b	データから読み取れることについての情報を、話すことができる。	b	データから考えたことについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	データから読み取れることについて、伝え合うことが十分できない。	c	データから読み取れることについての情報を、話すことが十分できない。	c	データから考えたことについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	データから読み取れることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	データから考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	データから読み取れることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	データから読み取れることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	データから考えたことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	データから読み取れることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	データから読み取れることについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	データから考えたことについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	データから読み取れることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	データから読み取れることについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	データから考えたことについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 11 Cultural Diversity

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・文化の多様性について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 仮定法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 「自分が日本のリーダーだったら」について、仮定法を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて仮定法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)		
	a	仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	仮定法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて仮定法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	仮定法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて仮定法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	仮定法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	仮定法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて仮定法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	途上国への支援について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C)	目標	「自分が日本のリーダーだったら」について、必要なことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	途上国への支援について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	「自分が日本のリーダーだったら」について、必要なことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	途上国への支援について、伝え合うことができる。	b	「自分が日本のリーダーだったら」について、必要なことを、話すことができる。	b	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	途上国への支援について、伝え合うことが十分できない。	c	「自分が日本のリーダーだったら」について、必要なことを、話すことが十分できない。	c	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	民族や文化の違いで起こる争いについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	多文化共生について、必要なことを、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	世界の問題に対する解決策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	民族や文化の違いで起こる争いについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	多文化共生について、必要なことを、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	世界の問題に対する解決策についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	民族や文化の違いで起こる争いについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	多文化共生について、必要なことを、話そうとする姿勢がみられる。	b	世界の問題に対する解決策についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	民族や文化の違いで起こる争いについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	多文化共生について、必要なことを、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	世界の問題に対する解決策についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 12 Japanese Customs

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・that節や話法などを正しく用いて表現することができる。 ・日本の文化について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 認識の表現などの意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 認識の表現などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 要求・必要を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 要求・必要を表す表現を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 話法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 話法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	認識の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 要求・必要を表す表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 話法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	認識の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 要求・必要を表す表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 話法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	認識の表現などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 要求・必要を表す表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 話法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	アンケート結果について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	目標 外国の友人にすすめる日本のものについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標 日本の慣習の変化についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	アンケート結果について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 外国の友人にすすめる日本のものについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 日本の慣習の変化についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	アンケート結果について、伝え合うことができる。	b 外国の友人にすすめる日本のものについて、話すことができる。	b 日本の慣習の変化についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	アンケート結果について、伝え合うことが十分できない。	c 外国の友人にすすめる日本のものについて、話すことが十分できない。	c 日本の慣習の変化についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	昔と変わった習慣について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 昔と変わった習慣についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 日本の慣習の変化についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	昔と変わった習慣について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 昔と変わった習慣についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 日本の慣習の変化についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	昔と変わった習慣について、伝え合う姿勢がみられる。	b 昔と変わった習慣についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 日本の慣習の変化についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	昔と変わった習慣について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 昔と変わった習慣についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 日本の慣習の変化についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 13 Population Issues

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・存在や変化を表す表現を正しく用いて表現することができる。 ・人口問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	存在や変化を表す表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 存在や変化を表す表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	存在や変化を表す表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 存在や変化を表す表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 存在や変化を表す表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	存在や変化を表す表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 存在や変化を表す表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 存在や変化を表す表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	少子化対策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	目標 少子化の原因と影響についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 不妊治療や少子化対策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	少子化対策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 少子化の原因と影響についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 不妊治療や少子化対策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	少子化対策について、伝え合うことができる。	b 少子化の原因と影響についての情報を、話すことができる。	b 不妊治療や少子化対策についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	少子化対策について、伝え合うことが十分できない。	c 少子化の原因と影響についての情報を、話すことが十分できない。	c 不妊治療や少子化対策についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	少子化対策について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	目標 少子化の原因と影響についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 不妊治療や少子化対策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	少子化対策について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 少子化の原因と影響についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 不妊治療や少子化対策についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	少子化対策について、伝え合う姿勢がみられる。	b 少子化の原因と影響についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 不妊治療や少子化対策についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	少子化対策について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 少子化の原因と影響についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 不妊治療や少子化対策についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 14 Rights and Equality

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞や知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・人権と平等について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 使役動詞や知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 使役動詞や知覚動詞などについて理解している。(SHARE) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 使役動詞や知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 使役動詞や知覚動詞などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 使役動詞や知覚動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	使役動詞や知覚動詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 使役動詞や知覚動詞などを用いて、英語で話すことが十分できない。	c 使役動詞や知覚動詞などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ジェンダーや人権問題について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	人権問題についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D)	人権問題の改善策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	ジェンダーや人権問題について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 人権問題についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 人権問題の改善策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ジェンダーや人権問題について、伝え合うことができる。	b 人権問題についての情報を、話すことができる。	b 人権問題の改善策についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ジェンダーや人権問題について、伝え合うことが十分できない。	c 人権問題についての情報を、話すことが十分できない。	c 人権問題の改善策についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ジェンダーや人権問題について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	人権問題についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	人権問題の改善策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ジェンダーや人権問題について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 人権問題についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 人権問題の改善策についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ジェンダーや人権問題について、伝え合う姿勢がみられる。	b 人権問題についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 人権問題の改善策についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ジェンダーや人権問題について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 人権問題についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 人権問題の改善策についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 15 Think Globally, Act Locally

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語らしい表現方法を正しく用いて表現することができる。 ・世界のさまざまな問題やSDGsについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B, SHARE)	目標 <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 英語らしい表現方法を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A, WRITE)
	a	英語らしい表現方法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 英語らしい表現方法を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 英語らしい表現方法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	英語らしい表現方法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 英語らしい表現方法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 英語らしい表現方法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	英語らしい表現方法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 英語らしい表現方法を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 英語らしい表現方法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	SDGsについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	目標 水の大切さについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C)	目標 SDGsの目標達成についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-D, WRITE)
	a	SDGsについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 水の大切さについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a SDGsの目標達成についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	SDGsについて、伝え合うことができる。	b 水の大切さについての情報を、話すことができる。	b SDGsの目標達成についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	SDGsについて、伝え合うことが十分できない。	c 水の大切さについての情報を、話すことが十分できない。	c SDGsの目標達成についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	SDGsについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	目標 水の大切さについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 SDGsの目標達成についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-D, WRITE)
	a	SDGsについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 水の大切さについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a SDGsの目標達成についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	SDGsについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 水の大切さについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b SDGsの目標達成についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	SDGsについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 水の大切さについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c SDGsの目標達成についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。